



日々新聞

第八号

支那の兵

支那の兵

支那の兵



支那國の兵査二名臺灣を  
 巡行せしに本國の村に  
 至りぬ其村の番人出て彼  
 兩人を海岸へ連れ死人の  
 心の白浪の底の藻屑と  
 無書ゆも有無の論あく救害  
 せしやまやく本國へ露顯あし  
 支那の憤進大うかばはし  
 一隊を繰出し本國へ  
 向ふ番人の脱走  
 ありて行へを知  
 無詮方此二村を  
 焼拂一陣の煙と  
 ありて兵隊を  
 引し明治亥の  
 一月のあころ

